NIE実践報告

1．タイトル：ニュースを伝え合おう

2．学校名

宮崎県延岡市立上南方小学校

3．実践者名（代表者名）

髙橋　公一

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　26人

6．単元（本時の学習課題）名

ニュース番組を作ろう

7．目標（狙い）

新聞を資料として活用し、記事の内容を聞き手に分かりやすく工夫して伝える。

8．評価の視点

新聞から気になる話題を選び、聞き手の興味をひきつけたり分かりやすく伝えたりするために、どのような工夫をしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

ニュース番組を作ろう(教科書教材)　12時間(本時は5/12)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(単元計画)
(1)身の回りのニュースなど伝えたいことを想起しながら学習の見通しを持つ。
(2)ニュース番組を見て内容や構成を調べ、役割ごとの仕事や番組作りの工夫などについて調べる。
(3)自分たちが作る番組の内容や構成について話し合い、取材をしたり新聞を資料として活用したりして番組進行表やニュース台本を作り、伝わりやすさを考えながら練習したり修正したりする。
(4)ニュース番組発表会を開き、感想を伝え合う。
(留意点)
・ニュース番組の中に新聞を利用したコーナーを設定させる。
・聞き手の興味・関心をひきつけるような記事を選択するよう必要に応じて助言する。
・聞き手の興味をひきつけ、分かりやすい発表にするための工夫について話し合わせる。
・話し方や声のトーン、表情など、聞き手を意識した話し方になるように、ニュース映像を参考にさせながら協力して発表の練習をさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

これまでに取り組んできた新聞を活用した学習と関連させながら、意欲的に学習する姿が見られた。聞き手をひきつける記事選び、分かりやすい発表のための見せ方・話し方・協力の仕方などニュースを伝える立場に立ち生き生きと活動していた。

12．成果と課題

教師の立場から考えると、この授業で取り立てて新聞を活用したわけではなく、あくまでも日ごろの取り組みを生かす場として国語の学習と関連させることができたのは今後につながる成果ととらえることができる。児童の立場から考えると、新聞が資料として学習の中で大いに活用できること、内容の伝え方や聞き手をひきつける手法について工夫することを効果的に学ぶことができたことなどは大きな成果といえる。一方で、教科の年間計画の中にどのように位置づけていくか、効果的に新聞を活用するためにはどのような学習と関連させればよいかなど、ねらいを持って計画的に新聞教育を進めていくことの難しさも実感した。